

障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野） 令和 8 年度 中間評価について

「障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）」における令和 8 年度 中間評価結果を公表します。
詳細につきましては、以下の各項目をご覧ください。

1 課題評価の趣旨

■ 中間評価

研究開発課題等について、情勢の変化や研究開発の進捗状況等を把握し、これを基に適切な予算配分や課題の中断・中止を含めた研究開発計画の見直しの要否の確認を行うことにより、研究開発運営の改善及び機構の支援体制の改善に資することを目的として実施します。

2 課題評価委員会 開催日

令和 8 年 8 月 13 日

3 評価委員一覧（◎委員長）（敬称略）

氏 名	所属 役職
石井 良平	公立大学法人大阪 大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科 教授
尾島 俊之	国立大学法人浜松医科大学 医学部 教授
◎ 加藤 忠史	学校法人順天堂 順天堂大学 医学部 主任教授
中里 道子	学校法人国際医療福祉大学 医学部 教授
中林 哲夫	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 新薬審査第三部 部長
西 大輔	国立大学法人東京大学 大学院医学系研究科 教授
西田 淳志	公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長
長谷川 花	一般社団法人静岡赤十字病院 精神神経科 部長

4 評価項目

- ① 研究開発進捗状況
- ② 研究開発成果
- ③ 実施体制
- ④ 今後の見通し
- ⑤ 事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目
- ⑥ 総合評価

※ AMED が定める 10 段階評価により、①～⑤を勘案しつつこれらと別に評点を付し、総合評価をする。

5 評価対象課題（1課題）

研究開発課題名	マイレジストリの縦断データを活用した新規治療法開発と薬事承認の実現
代表機関・役職	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター・室長
研究開発代表者	竹田 和良
評価コメント	多様なグループの研究を精力的に進めており、1 つ以上の薬事承認は得られる可能性が高い。一方で、各チームにより進捗状況の差が大きく、薬事承認の達成可能性が低いと見込まれる計画（チーム）もある。こうしたチーム（チーム A、チーム B）においては、薬事承認までを見据えた研究開発の道筋をより具体的に示す必要がある。また、レジストリデータの薬事承認における位置づけを明確化する必要がある。さらに、多時点縦断データの蓄積状況や追跡率、データ品質についても、より一層の向上が期待される。全体としては、本研究の取り組みは非常に重要であり、国際的にみても日本に不足している分野なので、目標達成のための最大限の努力と工夫が期待される。

（以上）